

2021年8月 直接支援家庭向け調査報告書 (概要版)



2021.9.1

事務局から直接的に支援を受ける家庭について、
家庭を取り巻く環境や、当団体とのつながりに対する意識や実態を把握し、
今後の活動の示唆とする。



調査目的	直接支援を受ける方の家庭環境やOOCとのつながりに対する評価を定量的に把握し、今後の活動の示唆とする。
調査手法	インターネット調査
調査対象	夏休みのおすそわけ希望あり世帯、計931世帯
調査時期	2021年7月5日（月）～8月18日（水）
有効回答数 （回答率）	903サンプル（97.0%）

1

コロナ禍による収入減・支出増の傾向は、春先からほぼ変わらない。困窮状態の長期化による生活苦が、生声からもにじみ出ている。

2

直接支援を受ける家庭は、公的支援の受給率が高いわけではなく、また、おてらおやつクラブ以外の支援団体とのつながりも希薄である。

3

直接支援により、心理的状況が改善された方は9割以上を占め、経済的な状況改善（8割）を上回る。

この夏、おてらおやつクラブでは長期休暇中の臨時的な「おすそわけ」を全国931世帯へお届けしました。同時に実施した調査では、多くのお母さんたちにご協力いただきました。さまざまな声や収入減・支出増の変化にみられる生活実態から、コロナ禍による困窮状態の長期化が懸念されます。

おてらおやつクラブは、お寺さまや団体さま、そして行政機関とも連携し、地域で助け合う社会の創出を目指し、全国津々浦々に活動を広げるべく様々な取り組みを行っています。同時に、そのような地域の支援とつながることが難しいひとり親世帯へ、事務局がある奈良から直接「おすそわけ」をお届けする直接支援活動も行っています。コロナ禍、全国から寄せられる助けての声に、連日、即日で「おすそわけ」を発送することで、単に物を送るだけでなく、心理的な支えをお届けする活動です。その先に、だれもが「助けて」といえる社会、共助を志向する社会が現れてくることでしょう。

今回の調査では、直接支援活動において、活動拠点のある関西圏でのつながりが多く、困窮度の高い世帯が多く生活されている首都圏への活動が手薄であることが顕著に現れる結果となりました。

全国的な広がりをご評価いただく機会も増えてきた当団体の活動ですが、まだまだ「おすそわけ」をお届けすることができていない地域が多くございます。見過ごされているかもしれない「助けて」の声にお応えできるよう、一層活動を充実、拡大させてまいります。引き続き、お支えいただきますよう宜しくお願いいたします。

松島靖朗／認定NPO法人おてらおやつクラブ代表理事

おてらおやつクラブの直接支援を受ける家庭は、
30-40代女性と子ども1-2人のひとり親家庭、関西圏居住者が多い。

Q. 親の性別

	N	女性	男性	無回答
全体	903	98.1%	1.2%	0.7%

Q. 親の年齢

	N	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
全体	903	0.2%	9.0%	43.3%	39.8%	7.4%	0.3%

Q. 子どもの人数

	N	1人	2人	3人	4人	5人
全体	903	47.2%	36.0%	12.7%	3.2%	0.9%

Q. 居住地

	N	関西圏 2府4県	首都圏 1都3県	その他
全体	903	48.7%	22.7%	28.6%

多くはパート・アルバイトとして従事しており、
仕事での収入は10万円前後、預貯金は50万円未満が多くを占める。

Q. 親の雇用形態

	N	パート・ アルバイト	正社員	契約社員	派遣社員	自営業・ フリーランス	無職
全体	903	43.4%	25.1%	6.2%	4.8%	4.3%	16.2%

Q. 親の仕事での収入

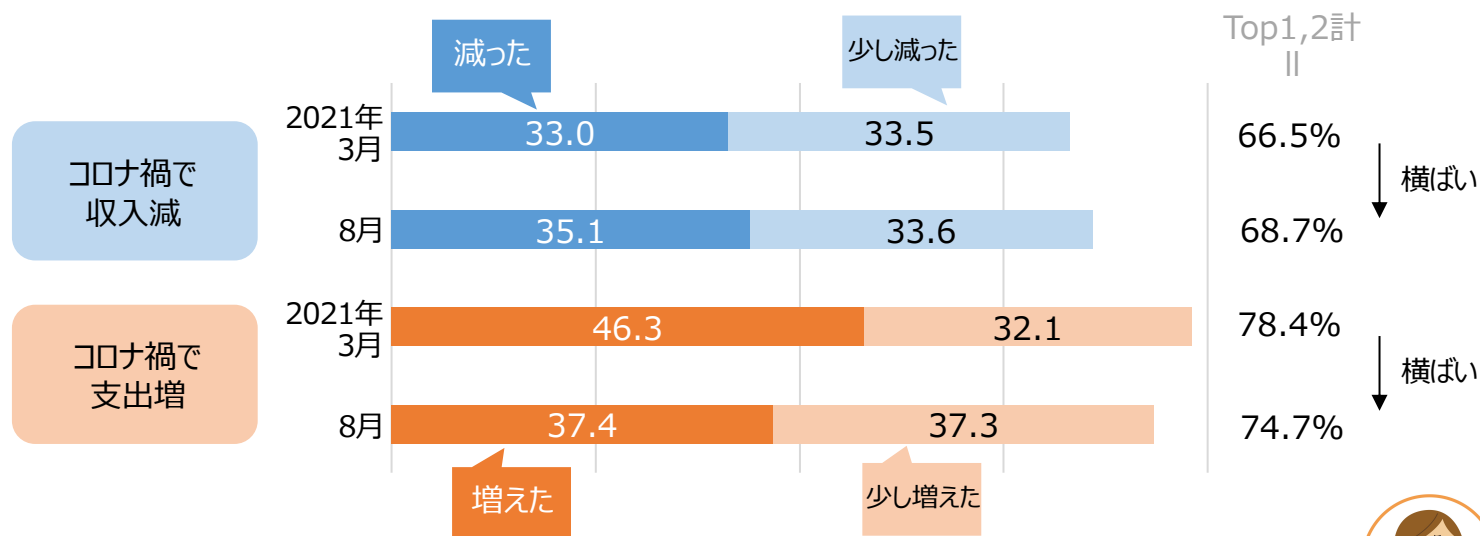
	N	収入なし	1～5万円 未満	5～10万円 未満	10～15万円 未満	15～20万円 未満	20万円 以上
全体	903	22.7%	7.2%	21.3%	26.6%	16.9%	5.3%

Q. 親の預貯金

	N	預貯金なし	1～50万円 未満	50～100万円 未満	100～150万円 未満	150～200万円 未満	200万円 以上
全体	903	36.8%	33.3%	15.4%	5.8%	3.1%	5.6%

コロナ禍による収入減・支出増の傾向は、春先からほぼ変わらない。
困窮状態の長期化による生活苦が、生声からもにじみ出ている。

Q. コロナ禍による収入・支出の変化（5段階）



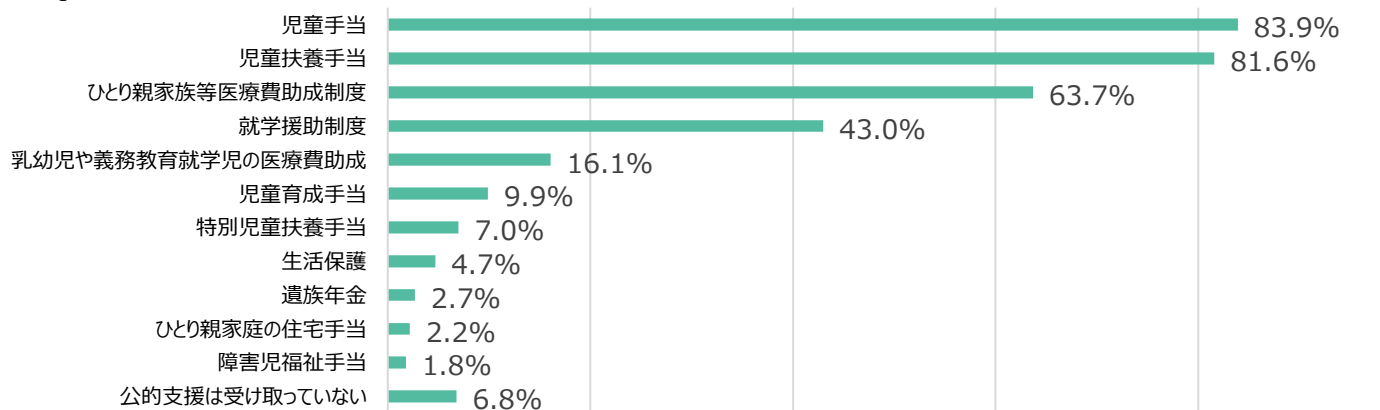
Q. コロナ禍での生活状況



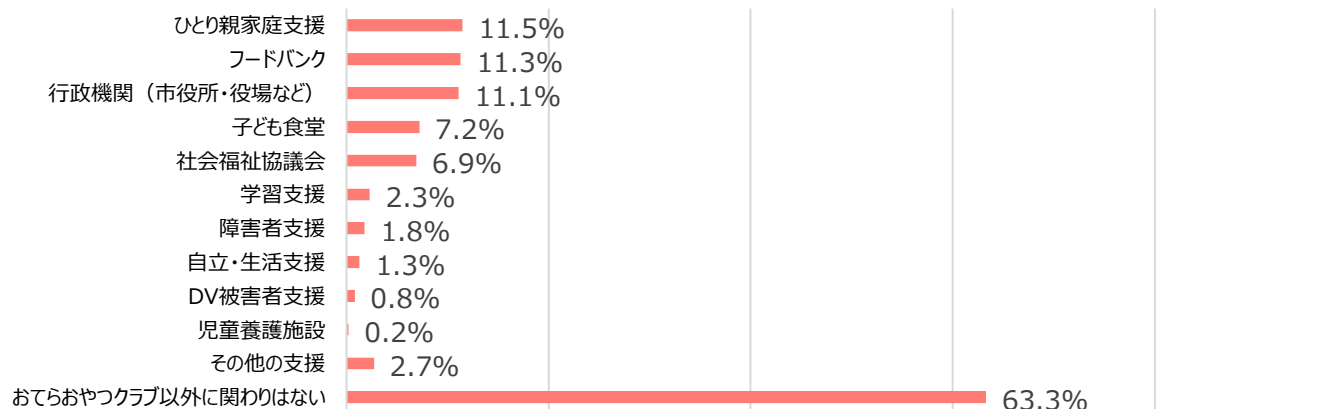
- ・私は聴覚障害があり、読唇術で会話の理解をしているため、マスクを相手方に外して貰った上での会話のやり取りでないと理解できない。その配慮がコロナの影響を受けて難しく、仕事が見つからず困っている。（20代女性、女兒1人）
- ・コロナで派遣切りにあいました。次は正社員で仕事を探しておりますが難航しています。収入がなくなったことも先行きの不安ではありますので、最後はまた派遣かアルバイトをと思っています。しかしこれだと根本的にひとり親としての経済的自立になるのかと将来の不安を感じます。（40代女性、男児1人）

直接支援を受ける家庭は、公的支援の受給率が高いわけではなく、また、おてらおやつクラブ以外の支援団体とのつながりも希薄である。

Q. 受給している公的支援（複数回答）

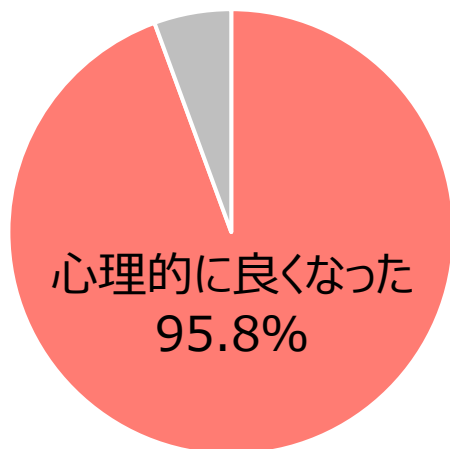


Q. 生活相談や支援を受ける団体（複数回答）

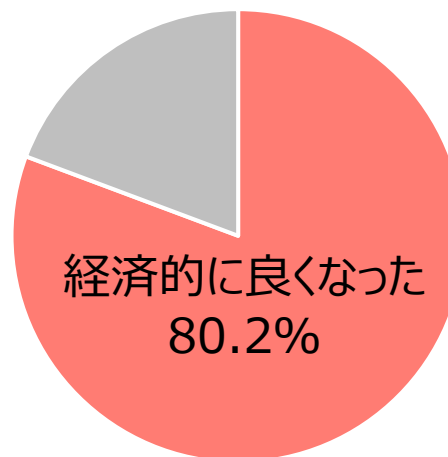


直接支援により、心理的状況が改善された方は9割以上を占め、経済的な状況改善（8割）を上回る。

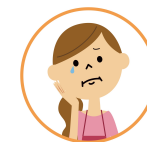
Q. 直接支援による心理的状況の改善



Q. 直接支援による経済的状況の改善



Q. 状況改善の理由



- ・申込みや相談をしてからの対応が迅速なので、**おすそわけを通しておてらおやつクラブさんにつながっている実感がわきやすい。**（30代女性、男児2人）
- ・根本的な経済面は変わらないが、**心の支えになっている。**本当にありがたい。一言メッセージがとても嬉しかった。（30代女性、女児3人）
- ・変わらずおすそわけを送ってくださり、本当に嬉しいです。忘れられてないんだなと感じます。実家との縁も薄い我が家では、**おすそわけは実家からの送り物のようで心が温かくなります。**（30代女性、男児2人）

名称	認定NPO法人おてらおやつクラブ
所在地	〒636-0311 奈良県磯城郡田原本町八尾40
活動開始	2014年1月1日
認定NPO法人認証	2020年11月27日
Webサイト	https://otera-oyatsu.club
代表者	代表理事 松島靖朗
役員	理事 高山信雄 理事 野田芳樹 理事 福井良應 理事 桂 浄薫 理事 松野尾浩慈 監事 井出留美 監事 渡邊元浄
相談役	森本公穰